

福島第二原子力発電所 環境モニタリング地点の 環境等再確認について (案)

平成26年9月9日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

1. 初めに

◆ 環境モニタリング地点変更の背景

福島第二原子力発電所の北側2Km～2.5Kmの地点は、平成25年度より除染等に係わる廃棄物処理エリアとして運用が開始された。

この運用に伴い、エリア内に有った環境モニタリング地点(空間積算線量、陸土)につて、変更の必要が生じた。

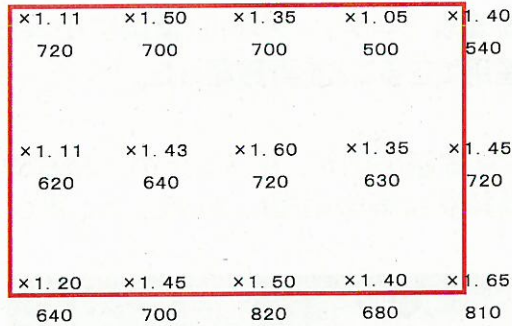
◆ 環境モニタリング地点の環境等再確認の目的

環境モニタリング地点は平成26年4月に変更したが、短期間での地点変更であったことから、並行測定は実施できなかった。

そこで、地点を変更して数ヶ月経過したことから、今回地点変更前に確認したこと、地点変更後に確認したことを取りまとめ、新地点が長期的なモニタリング地点として、適した場所なのか否かを再確認した。

3-2. 新モニタリング地点選定時の確認

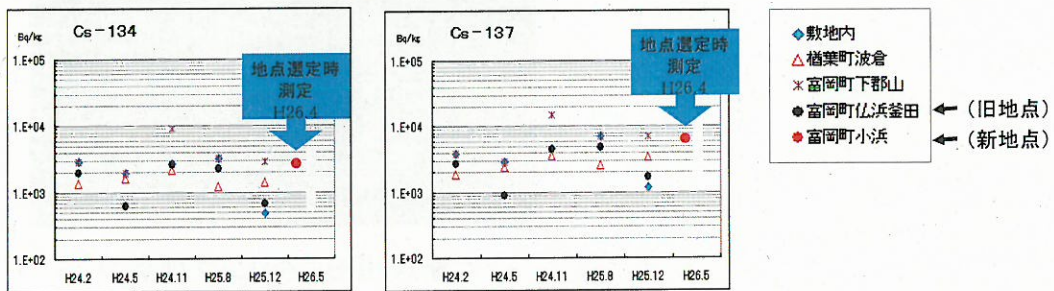
◆ 新地点の空間線量率、表面汚染密度測定 (H26. 4測定)



空間線量率、及び表面汚染密度は、新モニタリング地点内で大きな開きがないことを確認した。

: 新モニタリング地点
 × : 測定ポイント
 上段数字: 地上1cm線量率(μ Sv/h)
 下段数字: 地上1cm表面汚染(cpm)

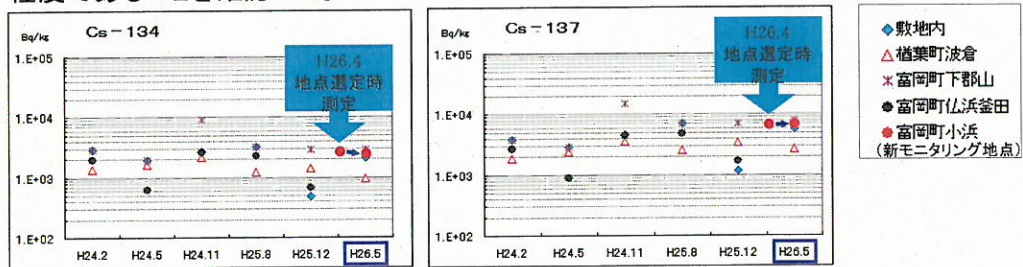
◆ 新地点の陸土の γ 核種濃度測定



4. 新地点運用後の確認

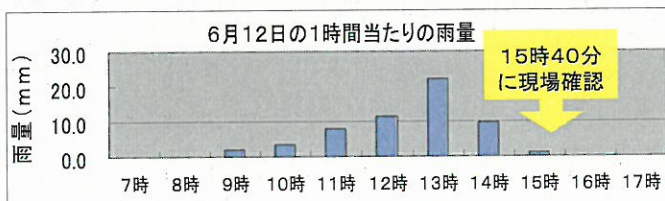
◆ 陸土の γ 核種濃度測定

H26. 5の定期的な γ 核種濃度測定において、新モニタリング地点は前月の値と同程度であることを確認した。



◆ 大雨後の新環境モニタリング地点確認

6月12日は、朝から雨が降り、12時～13時の1時間の雨量は22mmであったことから、モニタリング地点の現場確認を実施した。



モニタリング地点への雨水、陸土の流入、及びモニタリング地点からの雨水、陸土の流失の痕跡は確認できなかった。